# 令和８年度　第３回　北杜市男女共同参画推進委員会
# 【議事録】

１　日　　時　令和８年９月１４日（月）１９：００～２１：００
２　場　　所　北杜市役所 本庁舎 西会議室
３　出 席 者
　【委　員】浅川千代子、北原まつ子、栗原　正明、輿石　恒美、五味　　司
　　古本　佳子、齊木　理恵、佐藤　武司、下里　一兵、中込　　文
　　野々村誠司、藤森　修平、保坂　雪江、三井久美子、三井ひろみ
　　村本　　彩、矢﨑久美子、藪内　竜太
　【事務局】企画課企画担当　　白倉　健、堀内　健
４　欠席委員　有井　ゆみ、安藤　義樹、小野　由紀、柿崎　正美、鈴木　厚美
　　中嶋　　一、堀内加代子、堀内　敏光、丸茂　　篤、三木　志保
５　会議録署名　北原まつ子、栗原　正明
６　公開・非公開の別　公開
７　傍　　聴　なし
８　会議内容
　１）開会
　２）委員長あいさつ
　３）議事
　　（１）第３次北杜市男女共同参画推進プランの策定状況について
　　（２）広報誌「杜のほほえみ」の発行について
　　（３）第１１期の取組テーマについて
　４）その他
　５）閉会

９　会議経過
　１）開会［１９：００］
　２）委員長あいさつ
　３）議事
　　**議事（１）第３次北杜市男女共同参画推進プランの策定状況について**
　　事務局から議事（１）について説明。

（発言者）　　（内　容）
委　員　　プラン策定後、推進委員が何を行うのか、最終的なゴールが分からない。

事務局　　プランの策定にあたっては、本市の課題や市民の意識を確認し、現状を改善していくための取組をプランに組み込む。計画においては数値的な目標なども設定する。
今年度、プランを策定するためのプラン策定委員会を、推進委員会とは別で設置している。プラン策定委員会の設置は市の要綱で定められており、今回は５年間の計画を策定する。推進委員会の役割はプランの中で掲げた目標に近づけるよう、身近な方や男女共同参画が浸透していない分野に広げていくこと。

委　員　　市民への啓発について、最終的に何を伝えるのか、また、どのような方法で伝えるのかが重要だと思う。これまで、男女共同参画に関する取組が十分に市民へ浸透してきたとは言えない中で、市民への伝え方を推進委員会で決めることはできるのか。

事務局　　事務局としても、市民に伝えることは重要と考えている。より効果的な普及方法について、推進委員の皆さんに検討していただき、委員会の中でも議論してもらいたい。

委　員　　男女共同参画について、推進委員自身が学びながら理解を深め、何をどのように地域や職場に広げていくかを考えることが重要。これまでのフォーラムも参加者が委員の家族や知人に限られる傾向があった。

委　員　　今年度は考える年で、具体的なアクションは来年度ということか。従来はフォーラムという形でやってきたが、その形に捉われず、別の方法を考えた場合には、予算はいただけるのか。

事務局　　予算は財政当局との折衝があり、お約束できない。例年どおりの予算、動きが現実的という認識。

委　員　　結局、フォーラムの開催に行き着いてしまうのではないか。推進委員として自分たちにできることを考えたい中、予算もない状況で、フォーラムを開催して人を集めるだけで、本当にプランの推進につながるのか疑問に感じる。

事務局　　次年度予算の要求には事前の準備が必要で、10 月頃までに根拠を整える必要があるため、次年度の予算化には間に合わない。今後の取組については、令和 10 年度の予算化も見据えて検討していただくこともある。

委　員　　推進委員の任期は２年であるため、次年度予算を確保する必要があるのであれば、10 月までに実現可能な取組を検討する時間を設けるべきだった。限られた任期を考えると、今後は進め方や時間の使い方を見直した方がよいのではないか。

委　員　　良いご意見をいただいた。従来のやり方と違う方法で、市民に浸透させる方法を考えていきたいと思っている。従来と変えていくことを一緒に考えてほしい。来年度以降を見据え、次期の推進委員へ取組をつなぐとともに、現在の推進委員にも２期、３期と継続して活動していただき、より取組を広げていきたい。

委　員　　２年の任期の中で、何かチャレンジしたということが残るとよい。来年度の予算には間に合わないかもしれないが、次期には間に合わせていくなど、市の事情なども教えていただき、この場の前提を理解していきたいと思った。

事務局　　常にフォーラムを実施しなければならないということではなく、取組を変えてはいけないということもない。今後も意見をいただきながら検討していきたい。

委　員　　フォーラムの予算はあるのか。

事務局　　フォーラムには大きな予算はかけておらず、講師への謝礼程度である。その他は推進委員の手作りで実施してきた。このやり方が委員の負担にもなっていたところはある。今年度は、１年目の学びに加え、テーマを考えるだけでなく、どのような事業ができるのか、そのために必要な予算も含めて検討していく機会として捉えていきたい。

**議事（２）広報誌「杜のほほえみ」の発行について**

事務局から議事（２）について説明。

（発言者）　（内　容）

委員長　　事務局と委員長・副委員長で、今年度の広報誌の内容について方向性を検討した。今期の会議は残り３回を予定しており、限られた時間の中で広報誌を作成する必要があることを踏まえ、今回の方向性を整理したものである。まだ決定事項ではないため、委員の皆さんから意見を出していただきたい。

委　員　　男女共同参画用の SNS アカウントを作成することはできるか。

事務局　　本市における SNS 運用について、担当している部署に確認する。

委　員　　広報誌を 16,500 部発行するとしているが、この発行部数にはどのような根拠があるのか。印刷には費用や作成期間もかかるため、SNS などの情報発信に費用を充てた方が、より多くの市民に情報を届けられるのではないか。検討した内容をある程度結論付け、「こういうものができた」という段階になった際に、紙面で市民に周知することはよいと思うが。

事務局　　16,500 部は、北杜市の区に属している世帯数をもとに算出している。
SNS の活用は増えているが、仕事をする中で感じるのは、紙媒体でなければ情報を見ない市民もいるということである。あえて紙で全戸配布することで、より多くの市民に情報を届けるという点では、紙媒体での発行も必要だと認識している。一方で、周知に当たっては、インターネットも活用し、紙媒体と併用して情報発信していくことが必要である。

委　員　　前回の広報誌と比較して、ページ数が減っているというのは、予算の関係なのか。

委　員　　広報誌は 2 年間の任期の中で、1 年目はページ数を少なくし、2 年目にページ数を増やす構成としている。今年度は 1 年目に当たるため、ページ数は少なくなっている。また、広報誌を紙で全世帯に配布したことで、近所の方から「広報誌を見た」と声をかけてもらったこともある。特に高齢の方は紙媒体を好む傾向があるため、紙での配布をなくすことには懸念もある。

委　員　　紙を無くすとまで言っているのではなく、全世帯に配布する必要はあるのか。

委　員　　どの世帯に配布するか、あるいは配布しないかを個別に判断することは難しい。今回、新任の委員が多い状況や新たなプランを策定中であるため、その内容が明らかになってから、それを踏まえて広報誌の内容を検討した方がよいのではないか。今年度、広報誌を発行する必要があるのか。

委　員　　現在のプランに基づき、推進委員には今年度の活動を行っていただいている。推進委員は市から報酬を受けて活動していることから、その活動内容を市民に報告するものとして、広報誌を発行している。

委　員　　推進委員会での議論の内容も含め、例えばSNSの活用について議論を始めたことなど、現在どのような検討を行っているのかを市民に伝えることも、広報誌の役割としてよいのではないか。推進委員の紹介として、一人ひとりからコメントをもらう方法もあると思うが、それだけでは内容が薄くなる可能性がある。委員会全体として「このようなことについて動き始めています」という現状を報告する内容でもよいのではないか。

委　員　　推進委員になったことで、男女共同参画について考える機会が増えた。また、委員一人ひとりが考えていることにも少しずつ違いがある。そうしたそれぞれの考えを市民に伝えることも、男女共同参画を広げていく一歩になると思う。

委員長　　議事３では、今期のテーマについて話し合う予定であったが、委員からの意見を伺う中で、今回はテーマの検討よりも、広報の方法について話し合う必要があると考えている。各テーブルで、1年目の広報誌をどのような形にするかについて話し合い、方向性を決めてほしい。

議事（３）の内容を変更し、テーブルごとに分かれ、広報誌について検討した。
各テーブルの議論内容は割愛。

４）その他

５）閉会
三井副委員長よりあいさつ。

［２１：００終了］

---

以上、令和８年度第３回北杜市男女共同参画推進委員会議事録の内容を記載し、その内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

令和８年　　月　　日

署名委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿